

建設大臣賞

■予讃線丸亀駅周辺市街地活性化事業（表彰対象者：香川県善通寺土木事務所 丸亀市都市開発部）



受賞の理由

連続立体交差事業を中心市街地の活性化事業の中核事業に位置づけ、関連する他の事業を合わせて実施した実績とその総合力が評価されたものである。



事業のあらまし

この事業は瀬戸大橋及び四国横断自動車道の実現によって、新しい広域高速交通時代を迎えることから、これを展望した事業である。丸亀市の中心部を東西に横断するJR予讃本線を連続立体交差化し、新しい時代に対応した交通結節機能とアメニティに富んだ駅前広場を整備する事業である。

また、周辺地区の再開発事業を進め、あわせて美術館、図書館等の公共施設を整備し、駅周辺市街地の活性化を図るものである。

- ・連立事業 2,748m
- ・踏切除去 13ヶ所
- ・駅前広場整備面積 7,000m²
- ・地下駐車場 263台収容
- ・全体事業費 175億円



受賞者の一言コメント

丸亀市の永年の悲願であった、予讃線丸亀駅付近連続立体交差事業が平成元年に完成し、これを機に更に事業効果を高めるべく周辺市街地整備を引き続き実施しており、今回の受賞を励みに都市の活性化に向けて、なお一層の努力をする所存であります。

丸亀市都市開発部
「瀬戸大橋」という世界一大きな橋の架橋に合わせて、日本で一番小さな県「香川県」が精一杯取り組んだ事業であります。今回の受賞を励みに「小さいけれども、まちづくりの香川県」と言われるように、がんばります。

香川県土木部都市計画課